

“やったね”体験談「EXPERIENCES OF GOOD JOB」雑感

困難な仕事を引き受ける時は、ピンチヒッターで、突然引き受けることが多いです。その時は、誰からも注文を付けられないし、自由に行動ができますので、活動はやり易いです。結果が出れば、私としては”やったね!!“と心の中で叫んでいます。

こう言った事案を振り返ってリストアップしてみました。小学校 1 年生の歓迎の辞の件につきましては、多分ピンチヒッターであったと確信しています。友達が何度も練習していたのを目撃していたから。何をしているのだろうかと言っていたら、それを自分がやっていたと言うことです。結果は OK でしたが、これが”やったね“体験談の第一号でした。私の小学校でのステータスができた出来事でした。

中学校入学直後の学力試験で、全校で一位の席次だったと母から報告がありました。担任の先生から、家庭訪問で、報告があったとのことでした。”やったね“体験の一齣ではありました。がこれからこの座をどう守って行くのかが、重荷になったことは確かでした。何はともあれ、これで中学校でのステータスはできたのではないのでしょうか。

高校生活、大学生活、会社勤務生活を終えました。その中で、海外勤務も体験し、変化に富んだ一生で、様々な“やったね”体験をしましたが、退職後マイホームページが持てたことが一番”やったね“体験であったと思います